

基本
理念

スポーツで市民みんなが、明るく元気に交流しあう都市 古賀

基本
方針

子どもの体力向上
～体育、少年スポーツ事業の充実～

スポーツ実施率の向上
～生涯、競技スポーツ事業の推進～

元気な人づくりの支援
～スポーツ環境の整備～

到達
目標

各校区コミュニティに「元気な人づくり」をめざして体を動かす「きっかけ」を提供するスポーツの機会をつくり、自立した生涯スポーツ社会を実現する

国・県スポーツ振興計画
古賀市総合振興計画
生涯学習基本計画
ヘルスアッププラン ほか

古賀市スポーツ振興アクションプラン（後期）

【基本方針1:子どもの体力向上】

- 1.市内小中学校の体力向上への取り組みと支援（拡充）
- 2.小中学校連携による体力向上への取り組みと支援（継続）
- 3.子どもの体力向上に向けたスポーツ関連団体、学校や地域との連携（拡充）
- 4.青少年スポーツ指導者等の育成及び研修（拡充）
- 5.スポーツ人材バンク制度の構築（継続）
- 6.幼児期における外遊び・運動等の推進（新規）
- 7.スポーツ少年団設置の検討（継続）

【基本方針2:成人のスポーツ実施率向上 週1回以上50%へ】

- 1.市民健康スポーツの日の実施（拡充）
- 2.総合型地域スポーツクラブの調査研究（継続）
- 3.地域におけるウォーキング事業の推進
- 4.地域における健康・スポーツ事業の支援（拡充）
- 5.地域における運動・スポーツ交流事業の調査研究（新規）
- 6.健康づくりを目指した事業と連携（継続）
- 7.競技スポーツの支援（継続）
- 8.障がい者スポーツの推進（拡充）

【基本方針3:元気な人づくりの支援 スポーツ環境の整備】

- 1.公共施設、スポーツ施設の有効利用の検討（継続）
- 2.効果的な情報提供（新規）
- 3.市内スポーツ施設等の利用方法等の改善（継続）
- 4.地域における運動・スポーツ事業推進のための環境の整備（新規）

これまでの取組内容

【基本方針1:子どもの体力向上】

- 1.年2回各小中学校体育担当による体力向上推進会議を開催
体力向上プランの共有、体育授業の改善等の意見交換を実施
- 2.小中学校が連携した部活動体験教室の実施や加入奨励
- 3.元気アップチャレンジ事業実施における体育協会等との連携
- 4.スポーツ活動における課題等に着眼したスポーツ研修会の実施
- 5.中学校部活動外部指導者の把握や人材バンク制度構築の検討実施
- 6.保育所等における体力課題の把握や5歳児保護者へのアンケート実施
- 7.スポーツ少年団についての情報収集及び設置検討
古賀モデルのジュニアスポーツ環境の検討

【基本方針2:成人のスポーツ実施率向上 週1回以上50%へ】

- 1.日常的な運動習慣確立を目的とした市民健康スポーツの日の実施
健康福祉まつりと合同開催等新たなターゲットへの事業実施
- 2.スポーツ推進委員、体育協会が中心となったクラブ設立検討開始
- 3.定期的なウォーキング大会、講座の開催及び地域ウォーキング推進者の
人材育成事業の実施
- 4.健康づくり、介護予防を目的とした、いきいきポールンピック大会の実
施やヘルステーションの推進
- 5.地域、分館対抗のスポーツ大会の実施や体験教室、初心者教室の実施
- 6.関係課と連携した、健康づくり推進員や介護予防運動サポーターの養成
- 7.福岡県民体育大会の出場及び支援や全国・九州大会の出場補助の実施
- 8.スポーツ推進委員による定期的な障がい者スポーツ関連教室の開催や体
験会の実施

【基本方針3:元気な人づくりの支援 スポーツ環境の整備】

- 1.古賀、古賀東中学校の新規開放及び県立施設開放の検討
- 2.SNSや行事予定表を活用した広報活動の実施及びクロスパル古賀による
ウェルカムチケットの導入
- 3.インターネット予約システムの導入
- 4.レクリエーション備品を活用したスポーツ推進委員による出前講座実施

成果と課題（抜粋） ●…成果 ▲…課題

【基本方針1:子どもの体力向上】

- 小中学生の体力テストの結果は改善（全国・県平均を上回る）
- 体力向上推進会議の継続実施を通じた、意見交換・情報交換の充実
- 元気アップチャレンジ事業を通じた関連団体等との連携体制の確立
- 体育協会での継続的かつ積極的な指導者育成・研修等の実施
- 保育所等での体力向上プログラムの充実や体力測定実施の動機付け
- ▲スポーツ人材バンクの検討及び人材活用の方法の検討
- ▲スポーツ少年団の設置検討及びジュニアスポーツ環境の把握や支援に向けた協議
- ▲運動習慣化へ向けた保護者への啓発や行政間・学校・民間等との連携

【基本方針2:成人のスポーツ実施率向上 週1回以上50%へ】

- 週1回のスポーツ実施率向上 36.9%(H24)→58.4%(H29)
- 既存事業におけるニーズ把握等を踏まえた事業内容の改善や転換
- 体育協会・スポーツ推進委員が中心となったクラブ設立への検討や学習会の開催
- ウォーキング人口の拡大及び地域ウォーキングボランティアの育成
- 関係部署が連携した人材育成事業の充実（健康づくり推進員、運動サポーター等）
- ポールンピック事業におけるスポーツ推進委員の連携
- 県民体育大会の成績向上（H29 総合7位 40郡市中）
- 特別支援学校、特別支援学級への出前講座・出前授業の実施（スポーツ推進委員）
- ▲スポーツ無関心層へのアプローチや各種ニーズに合わせたスポーツ活動支援
- ▲ターゲットやエビデンスを明確にした事業の展開
- ▲地域間、市全域でのスポーツ交流の促進と地域づくりをめざした取組の実施
- ▲総合型地域スポーツクラブ設立に向けた方向性の検討

【基本方針3:元気な人づくりの支援 スポーツ環境の整備】

- 学校施設の積極的開放及び定期的な施設備品購入の実施
- インターネット予約システムの導入・稼働
- Facebook等SNSを活用した情報提供の実施
- 出前講座の実施及び地域におけるレクリエーションスポーツの啓発実施（スポーツ推進委員）
- ▲気軽にスポーツを楽しめる環境構築（施設利用のしやすさや利用手続きの方法などの改善）
- ▲ターゲットに合わせた情報提供手段の検証